

道芝



みちしば

第65号

令和2年7月1日

水戸市青少年育成推進会議

会長 加倉井 喜正

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内

水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692

「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」
みちしば

家庭教育って何だろう？ —家庭教育はすべての教育の出発点—

4月に新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言」が発令され、外出自粛や学校の休業等、皆が辛い厳しい状況に置かれました。このような時だからこそ、改めて子どもたちと向き合ってみましょう。

親の笑顔が子どもの笑顔をつくります。子どもたちにとって「家庭」は、心のよりどころとなる場所であり、すべての教育の出発点です。

家族のふれあいを通して、基本的な生活習慣や豊かな情操、思いやりの気持ちなど、親子で共に学び子どもたちの未来を育みましょう。また、地域の大人が地域の子どもの見守る「地域親」としての地域の皆様の温かい思いやりも不可欠です。



健全な家庭づくりリーフレット「ふれあいわかば」小学生用より

当会では平成25年度より、「ふれあいわかば」というリーフレットを作成し、学校を通して新小・中学1年生の保護者に配布しています。小学生用のものから、その一部を上に掲載しました。子どもを育てるのは家庭であり、更に地域社会がそれを支えています。今一度、子どもとのかかわりを皆で見つめ直してみませんか。

水戸市青少年育成推進会議



令和元年度決算・令和2年度予算

決算／収入総額 5,581,038円 支出総額 5,386,468円 差引残高 194,570円
(次年度へ繰越)
予算／収入総額 5,620,000円 支出総額 5,620,000円

収入 (単位：円)

科 目	令和元年度 決 算	令和2年度 予 算	内 容
会 費	3,347,600	3,325,000	推進会議本部会費、賛助会費
補 助 金	2,100,000	2,100,000	水戸市 水戸市社会福祉協議会
諸 収 入	11	430	預金利子
繰 入 金	0	0	
繰 越 金	133,427	194,570	前年度繰越金
合 計	5,581,038	5,620,000	

支出 (単位：円)

科 目	令和元年度 決 算	令和2年度 予 算	内 容
事 務 局 費	549,533	508,000	会議費、旅費、需用費、 役務費
総 務 広 報 部 会 費	1,496,843	1,560,000	青少年指導者研修会 会報誌「道芝」の発行(年2回) リーフレットの発行(年1回)
地 域 ・ 環 境 部 会 費	479,622	564,000	「家庭の日」絵画・ポスターと作 文コンクール 社会環境向上研修会 「こどもの安全を守る家」プレートの作成 標語塔の補修
青少年社会参加部会費	234,660	280,000	少年の主張大会、中学生交流 会、青少年若者体験活動事業
地 域 育 成 活 動 費	1,380,000	1,380,000	地域活動づくりの支援 (16地区)
ふれあいを深める事業費	1,200,000	1,280,000	実施地区へ交付
負 担 金	15,810	17,000	水戸地区青少年育成市町民会 議連絡会負担金
積 立 金	30,000	30,000	記念事業費
予 備 費	0	1,000	
合 計	5,386,468	5,620,000	

令和2年度を迎えて

水戸市青少年育成推進会議
会 長 加倉井 喜正



日頃、当推進会議の趣旨をご理解
いただき、事業推進にご支援ご協力
を賜り心より感謝申し上げます。
新年度を迎えましたが、新型コロナ
ウイルスの感染防止に伴い、定期
総会は書面開催とさせていただきます。
ご賛同の上、全ての議案を可決い

ただき御礼申し上げます。

現在、多くの市民団体が「3つの
密」を避ける為、イベントの中止・自
粛等の感染症対策を行っています。
社会活動の一端である青少年育
成活動も行動に制限あり歯がゆい
ばかりです。
現状が収束し、通常の社会生活に
戻ることを願っています。
当推進会議としても、先が見えづ
らい中、この難局を皆様と共に乗り
越え、今年度の活動基本方針に基づ
き事業推進を図って参ります。
更なる、ご指導ご支援宜しくお願
い申し上げます。

総 会

今年度の総会は、新型
コロナウイルスの感染拡
大に伴い緊急事態宣言が
発令されたことにより書
面総会となりました。
今後の状況を見ながら
の活動となりますが、子
ども達が元氣一杯過ごせ
るよう皆様と共に歩ん
でいきたいと思ひます。
どうぞ、ご協力ご支援
のほど、よろしくお願
いいたします。

令和2年度正副会長・部長・監事・理事（敬称略）

会長	加倉井喜正	副会長	環 哲男・齋藤 直哉	総務広報部会部長	本郷きぬ子・岡崎 充芳	地域・環境部会部長	吉川 幸江	青少年社会参加部会部長	川野邊洋美	監事	片岡 宗厳・村田 秀一	大久保純子
											</	

(令和2年5月末現在)

新型コロナウイルス感染症の影響が拡大して、今、大人も大きな不安を抱え精神的に辛い毎日を過ごしている方も多いと感じます。そのような中で私たちは、毎日ニュースを確認し、不安や辛さ怖さを口にする事で心の安定を図っているのかもしれない。

では、子どもたちはどうでしょうか。東日本大震災などの災害の中で、子どもたちに心理社会的ケアを行ってきた医師に聞いたことがあります。「子どもは、不安や怖い思いなどを言葉にできないことが多い」ということです。大人が大変そうだったりすると、わがままを言わず我慢してしまう子どもが多いのだそうです。自分は平気という態度をとって、半年後位に不安定になる子が多かったと聞きました。ケアの一端でもある表現、絵を描いたり何かを作ったり遊んだりする時間は、大切な時間だと思っています。あとは、どんなことを感じているのかを子どもたちと共有して、「一緒にがんばろうね」と伝えあうことも大事です。その中で、子どもたちが自分の気持ちを話してくれた時はぜひ『話してくれてありがとう!』と伝えてください。この言葉は魔法の言葉だと思っています。自分の気持ちを受け取ってもらえた、話して良いんだ、というメッセージをぜひ子どもたちに伝え続けていきたいと思っています。気持ちは心のサインです。守ってあげたいと思います。そして、子どもの心をケアすることで、大人も自分自身の心を安心させることにつながっていくようです。

もう一つ今とても気になっていることは、

心無い言葉が多く飛び交っているということです。先の震災の時にも、福島の方たちにも向けられていました。今また、新型コロナウイルス感染症により、多くの方への偏見や差別が起こっています。子どもたちのいじめが問題になる中で、いつも思うのは、その土壌を大人が作ってそれをしている子どもが真似る、ということだと思います。差別や偏見も、子どもたちが生み出すものではなくて、大人の在り方を子どもが真似ているのだと思います。間違った社会化を子どもたちに植え付けないように、私たちの在り方が問われているのではないのでしょうか。差別や偏見は「暴力」です。暴力を受けて良い人は一人もいないのです。私は子どもたちに、一人一人が権利を持った大切な人だよ、ということ伝えていきます。このような時だからこそ、人と人とのつながりや思いやることの大切さを、子どもたちと一緒に考える時間を持てたら良いですね。今回の問題と震災との違いは、人と距離を置かなければならないことでしょうか。私も青少年育成の中で、多くの子どもたち

▲昨年のわくドキ事業の様子



と活動できないことがとても残念でなりません。ですが、収束した先で子どもたちに何ができるのかを考え始めました。水戸市生涯学習課と協働してきた事業も、当たり前と思っていたものを変えるチャンスととらえたいと思います。子どもたちがお家から外に出てきた時に、安心して楽しいと思える場所を作ることが、地域の大人の役割かもしれません。みなさんで、**子どもの笑顔を守る取り組み**をしていきましょう。

うちの子どもとわが子



⑪

今、子供たちは想定外の困難な状況に直面しています。

しかし、記憶をたどると、新型インフルエンザや東日本大震災など、今まで

にも同じような状況を

経験して

ます。子供たちは、そのような状況にあっても、多くの

方々の支えと温かい励ましにより乗り切ってきました。

そして、当時の小中学生が

今、社会人となり、救急の現場や医療従事者として最前線で

私たちを支えてくれています。

今だからこそ、 温かいまなざしで

使命です。

今この経験が、きっと一人一人の可能性を磨いてくれることでしょう。

そのことを信じて、騒ぐことなく、温かいまなざしで見守っていこうと思います。

(水戸市立第四中学校校長柴田均記)

彼らは、困難な状況を乗り越った経験から「生きる力」を学び取っていたのです。

子供一人一人は、多くの可能性をもっています。今彼らは、その可能性を一つずつ磨いています。困難な状況であつても「学校」「保護者」「地域」が一体となって、「学び(磨き)」の場を用意し、支え、励まし続けることが私たちの

第35回水戸市少年の主張大会は、6月28日(日)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期となりました。
実施時期につきましては、現在検討中です。

親が変われば 子どもも変わる!!

「親の背を見て子は育つ」と言うとおり、親の生き方から子どもは学びます。
親が口ではどんなに良いことを言っても、言っていることとやっていることが違うのでは、
子どもの反発を招くのではないのでしょうか。親は、態度で子どもに規範を示しましょう。



家庭で できること

おはよう!



あいさつを習慣づける

あいさつはコミュニケーションの第一歩です。家族の間でもきちんとあいさつをしましょう。

生活のリズムを整える

朝食を食べない子どもや、慢性的に睡眠が不足している子どもが増えています。基本的な生活のリズムを整えるよう心がけましょう。

子どもの話を真剣に聞く

何でも話し合える親子の信頼関係を築くには、親の聞く姿勢が大切です。忙しくても「後で」とは言わずに、子どもの言葉に真剣に耳を傾けましょう。

子どもを認める

自分を認めてもらえる居場所があることで、心が安定します。子どもを認めて温かく見守りましょう。

時には厳しさも必要

してはいけないことや悪いことをしたときは、厳しく注意するなど、時には毅然とした態度が必要です。

親子で チェック!!



- | | YES | NO |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 元気にあいさつを交わしていますか? | ☐ | ☐ |
| 2 一日の出来事を話し合っていますか? | ☐ | ☐ |
| 3 将来の夢や希望について話し合っていますか? | ☐ | ☐ |
| 4 正しい言葉遣いが出来ていますか? | ☐ | ☐ |
| 5 家庭での役割をもっていますか? | ☐ | ☐ |
| 6 家庭の約束(ルール)はありますか? | ☐ | ☐ |
| 7 早寝早起きをしていますか? | ☐ | ☐ |
| 8 きちんと朝ごはんを食べていますか? | ☐ | ☐ |
| 9 家族みんなで楽しく食事をしていますか? | ☐ | ☐ |
| 10 愛情をもってほめ、叱っていますか? | ☐ | ☐ |

見逃さないで

子どものサイン

子どもは言葉に出さなくても、普段の行動や様子などからさまざまなサインを発しています。

サインをいち早く察し子どもと向き合いましょう。

また、家庭だけで問題を抱え込まないで、早い段階で学校や専門機関に相談しましょう。

いじめの早期発見・早期解決

親子の信頼関係を深めることが大切です。

いじめられている場合は、まず、子どもの心を支え、信頼できる情報を集めて、子どもを守る姿勢を伝えましょう。

いじめていた場合は、その背景を察して共に考え、悪いことは悪いこととして、毅然とした態度できちんと伝えましょう。

不登校への対応

登校できないでいる気持ちを、子どもの立場で理解し、安心感を抱けるように接しましょう。

SOS サインの例

- 投げやりな態度や乱暴な言葉を使う。
- 生活が不規則になり、家族を避ける。
- 自分の部屋に閉じこもりがちになる。
- 学校での出来事を話すのを嫌がる。
- 調子が悪いなどと言って、登校を嫌がる。
など

悩みを話せる人がいますか? 気軽にお電話ください。

小・中学生とその保護者対象

不登校に悩む相談

Tel.029-244-6730

月～金

9:00～20:00

土

9:00～17:00

いじめ相談

Tel.029-244-1347

月～金

9:00～17:00

水戸市総合教育研究所

橋本 隆志(部長)
吉川 幸江(副部長)
石野 奈緒美(副部長)
本郷 きぬ子(副会長)

新型コロナウイルスが世界中に蔓延する中で、皆がかつてない辛い厳しい環境に置かれました。しかし、この困難をプラスに変えていく力も人にはあると信じます。次代を担う青少年や、今、家庭や社会を支えている方々に少しでも早くお声を掛けたいとの気持ちで、広報委員会を開けない中での発行とさせて頂きました。今回は、皆で集まり、知恵と情報を集約して発行したいと思います。

編集後記